

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービスZEST町田

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	② 職員の配置数は適切である	○			安全を考慮し、基準人員に加えて職員を配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎日朝礼と終礼を行い、振り返りと報告を確認し、改善すべき事案に関しては方法や進捗を確認するように努めております。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			必要に応じて対応して参ります。
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社内研修(看護師によるてんかん勉強会、理学療法士によるリハビリ勉強会、等)の実施や、外部研修への参加に取り組んでいます。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			新規利用の場合は、専門職員によりアセスメント、親御様や相談支援員からの聞き取りを行い、支援計画の作成に努めています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシート・聞き取りシートを作成・使用しアセスメントしています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			原案を作成し、専門職員(保育士・看護師・機能訓練担当職員)による話し合いを通してプログラムを作成しています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			お子様の様子の変化や支援計画の更新時に振り返りを行い、変更が必要な場合は話し合いをして更新しています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			過ごす時間によって活動内容を変更しています。休憩や余暇を含め、本人が取り組みい内容を留意しています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○					
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○					
関係 機関 や 保護 者 と	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			基本活動(自立支援・創作活動・地域交流・余暇)の視点を基に支援計画の作成とプログラムやイベント立案をしています。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			医療的ケア指示書の提出をお願いし内容に沿った支援を提供しています。必要に応じて主治医と連絡・相談を行っています。	
㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			必要に応じて対応して参ります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			必要に応じて対応して参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			担当者会議等に参加、勉強会へ参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			イベントや外出(公園、神社等)の機会を作り、子供や施設外の方と関わり機会を提供しております。	連携先を広げ、交流の機会を増やして行ける様努めて参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			町田市の福祉懇談会、自立支援協議会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			毎支援後に、当日のお子様の様子や支援内容の報告を行い、お子様の成長や変化を共有しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		お子様の現状の様子から半年後を目標とした支援計画を作成し、その内容に沿った支援を提供しております。	日常生活においてご本人・ご家族の過ごしやすさに繋がるように支援して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に重要事項説明書の説明を通してお伝えしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			お子様の現状の様子から半年後を目標とした支援計画を作成し、その内容に沿った支援を提供しております。	日常生活においてご本人・ご家族の過ごしやすさに繋がるように支援して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			情報共有が出来る機会を提供できる様努めて参ります(利用先、相談先、イベント情報、等)。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			ご意見をいただいた場合は、解決・改善に向けて取り組む様努めております。	当事者だけでなく、事案に関しての情報を周知できるように努めて参ります(HP掲載等)。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			HPやSNS(LINE、Instagram)にて情報を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			ひらがなボード等、本人の発信しやすい方法を親御様と確認しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			事業所のイベントに近隣の方や他事業所の方を招待したり、利用者と一緒に訪問させていただく機会を作っています。	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各マニュアルを作成し、それを用いて研修・勉強会を行っています。研修の実施については契約時に重要事項説明書にてお伝えしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			非常時に向け物品の備えと、毎月の防災訓練、年に2日消防局職員の方と総合訓練(通報・避難・救急・消火)を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。